

# 環境農林水産常任委員会資料

## 目 次

- 1 不調・不落の発生状況等について . . . . . 1～2

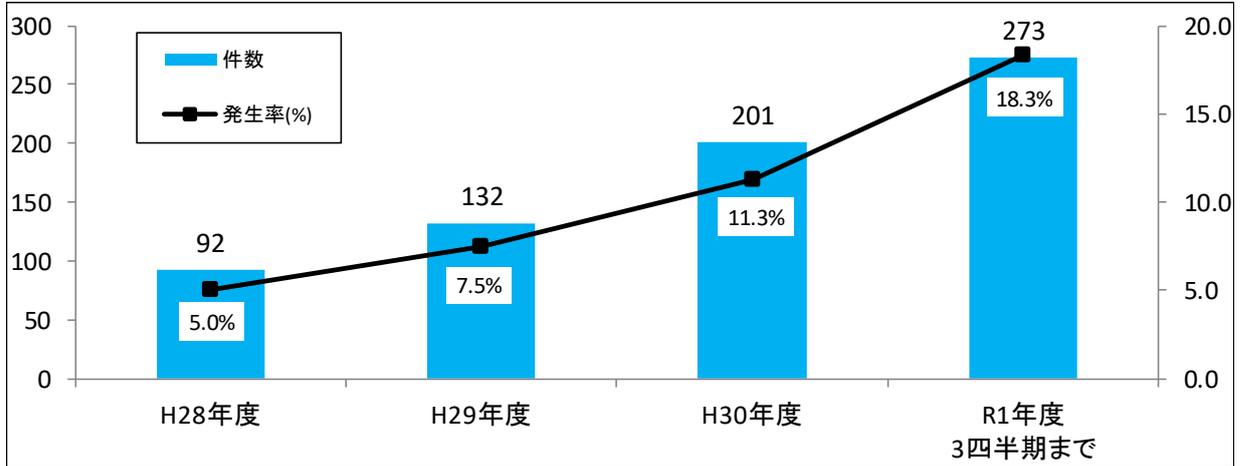
令和2年1月23日  
環境森林部・農政水産部

# 不調・不落の発生状況等について

環境森林部  
農政水産部  
県土整備部

## 1 不調・不落の発生状況

### (1) 公共三部の発生状況



### (2) 各部の発生状況（令和元年度第3四半期まで）

環境森林部 39件(42.9%)、農政水産部 64件(26.3%)、県土整備部 170件(14.7%)

### (3) 不調・不落の傾向（273件のうち）

- ①業種別：土木一式（152件）、とび・土工（32件）、舗装(27件)、建築一式（20件）
- ②価格別：1500万円未満（101件）、1500～3000万円（83件）、3000～7000万円（78件）、7000万円以上（11件）
- ③内容別：営繕工事（42件）、災害復旧工事（32件）、治山工事（24件）、畑地かんがい工事（15件）、林道工事（12件）、用水工事（10件）

## 2 不調・不落対策の実施状況

時期	内容
第1弾 (令和元年5月～)	①現場代理人の常駐義務緩和 ②施工箇所が点在する工事の間接費積算の適用拡大 ※国準拠 ③余裕期間制度の活用拡大 ※国準拠
第2弾 (同年9月～)	①Cクラス業者への最新入札情報のメール配信 ②営繕Cクラス工事の応札期間の拡大（2日間→3日間）
第3弾 (同年12月～)	①配置予定技術者の専任要件の緩和 ②総合評価落札方式における受注状況算定の特例措置の拡大等

## 3 今後の対策

別紙のとおり

## 不調・不落対策について

### 1 今後の対策

#### (1) 工事成績評定の特例措置

- ・不調・不落の発生率が高い次の工事において、工事成績点に一律2点の加点を行う。
  - 【公共三部共通】災害復旧工事
  - 【環境森林部】治山工事、林道工事、自然公園整備工事
  - 【農政水産部】畑地かんがい工事、用水工事、ほ場整備工事、防災ダム工事
- ・令和2年2月中旬(予定)～令和3年3月31日の入札公告又は指名通知を行う工事に適用

#### (2) 総合評価落札方式における受注状況(K値)算定の見直し

- ・不調に伴い随意契約となった工事は、「受注状況」算定における「過去5か年度の平均受注額」に加算する。
- ・平成31年4月1日以降に契約した工事の受注額を加算する。

$$\left[ \text{受注状況 (K値)} = \frac{\text{過去1年間の受注額}}{\text{過去5か年度の平均受注額}} \right]$$

#### (3) 入札参加資格の緩和

【対象工事】 予定価格25百万円以上の法面吹付工事

(現行)

- ・実績要件として、施工規模(面積700㎡以上)を設定している。

(改正)

- ・実績要件として、施工規模を設定しない。
- ・令和2年2月中旬(予定)～令和3年3月31日の入札公告又は指名通知を行う工事に適用

### 2 効果

- (1) 工事成績点の加点や、「受注状況」算定での加算により、入札参加意欲の向上が期待される。
- (2) 入札参加資格が緩和されるため、受注機会が拡大する。